

# 草津05倶楽部



できたあ！」の達成感が  
子どもの自信につながる

2020年から小学校で必修化予定のプログラミング学習。アイデア次第で無限に広がるブロック作りの面白さと奥深さに気づき、一足先に取り組んでいる倶楽部がありました。最新技術を取り入れ、これからの技術発展に目を輝かせる団体を取材しました。

## 子どもの発想で広がるブロックの世界

「草津05倶楽部」は、数字の「0」（レー）と数字の「5」（ゴ）を組み合わせ、デンマーク発祥のおもちゃ、レゴ®ブロックを使って楽しく活動する倶楽部です。組み立てた作品をパソコンやタブレットと連携してプログラミングすることで、オリジナルロボットに変身します。子どもたちの想像力を無限に発揮できる「草津05倶楽部」は、今注目されているプログラミングに設立当初から取り組んできました。

「できたあ！」の達成感を子どもたちに体験させてあげたい気持ちをエネルギー源に活動する代表の山口さんにお話を伺いました。

## 地域の子どもたちのためにできること

山口さんのお子さんがおもちゃに興味を持ちだしたころ、自身が幼いころに遊んだブロックが蘇ったそうです。そんなとき、知り合いからブロックを大量にいただいたけれど、当時まだ小さかったお子さんには難しく使いこなすことが出来ませんでした。せっかくいただいたブロックは、センサーやモーターなどの部品を含む特別なブロックであり、「ギア式で動く仕組みのものが作れるから、小学生に楽しいのではないかと町内会の子どもたちを集めて紹介したのがブロックとプログラミング教室を始めるきっかけでした。

草津市立まちづくりセンターで月1回活動している「草津05倶楽部」は、小学生以上の子どもたちを対象に、小学生の活動は必ず保護者と共に参加してもらっています。「活動するにあたって、大切にしていることは子どもたちが楽しく過ごして帰っていくこと」と話す山口さんは、倶楽部の出入りを自由にし、活動時間内に完成することが出来なかった作品は、自宅で作業を続けられるように部品の貸出しも行っています。

活動分野

科学技術

スタッフ数

21名（会員の保護者を含む）

団体設立

2007年2月

団体ホームページ

<https://93205.jimdo.com>

活動内容や活動日はブログをご覧ください

<http://blog.goo.ne.jp/kusatsu05/>



## 失敗を乗り越えて達成感を味わってほしい

作品の制作過程は、説明書を読みながら、数多い部品の中から適切な物を探し出して組み立てて行きます。ものによっては時間がかかる場合もあります。また、説明書通りに組み立てているつもりでも、類似した部品の付け間違えによって完成した作品が思い通りに動かないこともあります。しかし、失敗を繰り返しながらも欠陥を分析して組み立て作業に挑戦していく過程が低学年の子どもたちにとって忍耐力の必要な作業であり、小学生のころから参加している子どもたちは、複雑なブロックで作る力やプログラミングする力をどんどんつけていきます。

そうした中で、参加し始めたときは小学生だった子どもたちも中学生になると、学校行事や塾で参加するのが難しくなっているのが現状です。「本来ならば、小学生の間に培ってきた知識を実らせる絶好の時期である中学生にこそ活動に参加してもらいたい。ロボット作りは、組み立て方の説明を理解しながら作業していくことに意味がある」と山口さんは話します。ロボットの組み立てを完成させて動かすところまであきらめずに頑張る子どもたちの姿を山口さんは応援しています。

## 時代の変化と共に“今”を生きること

「草津05倶楽部」の活動内容や活動日は、ブログで発信しており、興味があれば時間を問わず参加できます。個人では高額で買えない種類のブロックも、ここへ来れば複雑で難しいブロックに挑戦することもできます。子どもとその保護者が頭を寄せ合って細かなブロックをひとつひとつ探しだして完成させる共同作業は大切な親子の時間でもあります。

今後の目標は、子どもたちのアイデアを多くの方々に発信できるロボット競技会に参加することだそうです。プログラミングによって単純なブロックを高度なおもちゃに発展させ、子どもたちが刺激を受け合いながら技術を向上させて行くのが狙いだそうです。

「IT 機器の発展は目覚ましく、これからの時代を生きる子どもたちにできる限り様々な機器に触れさせてあげたい」と山口さんは話します。いつか、「草津05倶楽部」に参加している子どもたちの中から、すばらしいプログラマーが誕生するかもしれませんね。

## 取材＊メモ

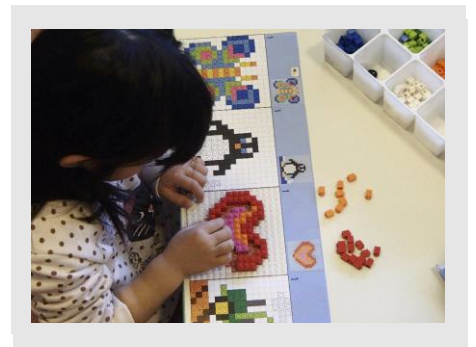
子どものおもちゃに対して真剣に取り組み、知識を積んでいく山口さんのパワーに圧倒されました。

「将来的には、ドローンの操作や3Dプリンターを使って作品を発信できたら」と話す山口さんが大きな夢をお持ちだからこそ、倶楽部に通う子どもたちがこれからの社会に対応できる力が養われているのだと感じました。

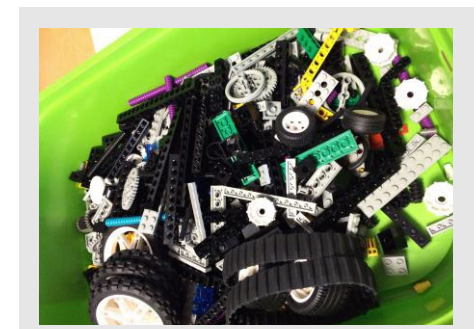


【発行元】 まちづくり協働課

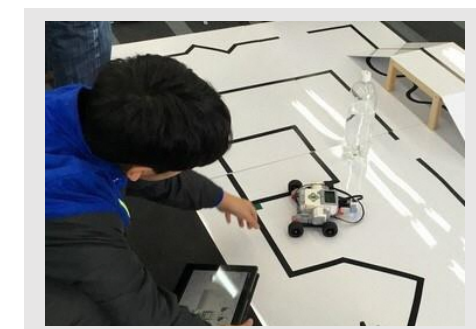
TEL 077-561-2337 FAX 077-561-2482



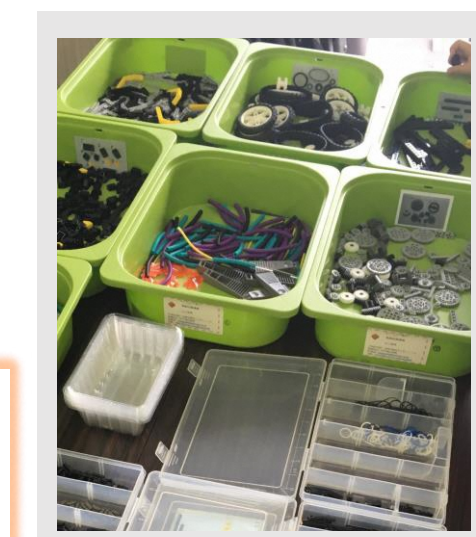
なごみの郷でのひなまつりイベントに参加



動く仕組みのものを楽しめるブロック



ブロックで作ったロボットの動きをプログラミング！



たくさんブロックを用意してお待ちしております！